

自然に学び自然を守る



IBR 剤 (Insect Behavior Regulator) 昆虫行動制御剤

農林水産省登録  
第22798号

# クミアイ コルト®

殺虫剤

顆粒水和剤



無人航空機散布に対応



害虫防除の馬カアツプ!  
北海道作物を守る!!

適用拡大  
さやいんげん  
(アブラムシ類)



モモアカアブラムシ



ジャガイモヒゲナガアブラムシ



ネギアザミウマ



ネギハモグリバエ

写真はいメージ

**1** 新しいタイプの殺虫剤  
昆虫の行動を制御(吸汁・歩行・飛翔・定着を阻害)する  
これまでにないタイプ(IBR)の殺虫剤です。

**2** アブラムシ・コナジラミ・カイガラムシ・アザミウマ防除に効果的

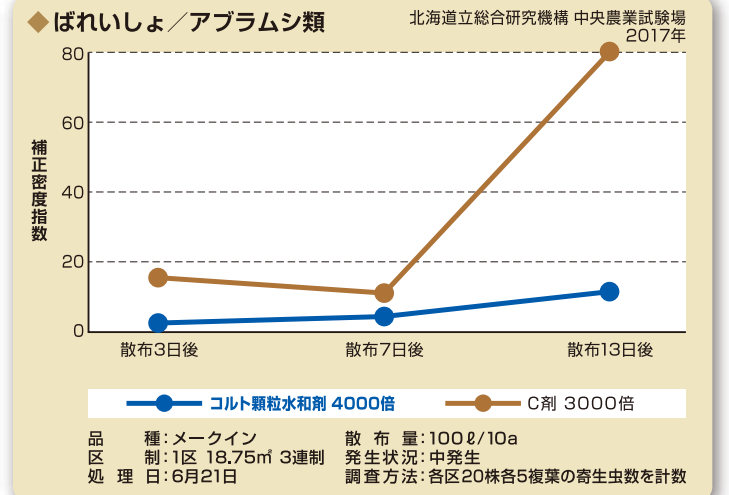
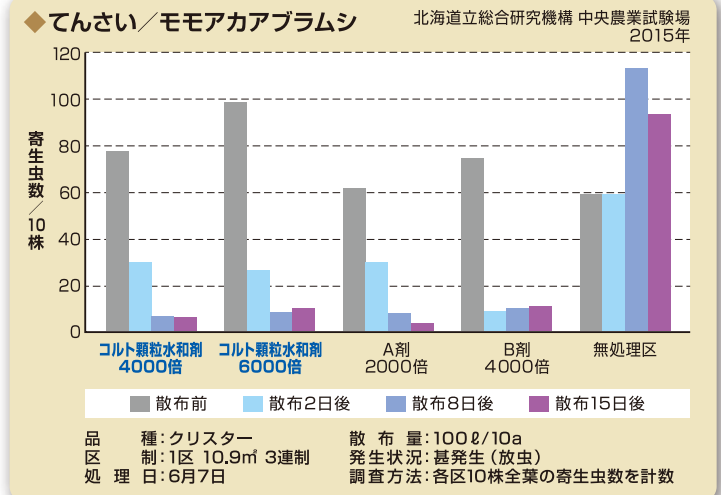
**3** 天敵に優しい

■ 適用病害虫および使用方法(抜粋) が2023年3月に適用拡大になりました。 (2023年3月現在の登録内容)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピリフルキナゾンを含む農業の総使用回数	
りんご	アブラムシ類	3000~6000倍	200~700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	カイガラムシ類 リンゴワタムシ	3000~4000倍						
ぶどう	カイガラムシ類、チャノキイロアザミウマ ツマグロアカカスミカメ	3000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
おうとう	オウトウショウジョウバエ カイガラムシ類	10000倍 2000倍						
ばれいしょ	アブラムシ類	4000~8000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内	
やまのいも、カリフラワー		400倍	25ℓ/10a					
		50倍	3.2ℓ/10a					
		4000倍	100~300ℓ/10a					
てんさい	4000~6000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内		
トマト、ミニトマト メロン、すいか、かぼちゃ	32倍	1.6ℓ/10a						
	40倍	2ℓ/10a						
	64倍	3.2ℓ/10a						
さやいんげん	アブラムシ類、コナジラミ類	4000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	3回以内		
キャベツ	アブラムシ類	4000倍						
	アブラムシ類	3000~4000倍						
	ネギアザミウマ	3000倍						
	アブラムシ類	16倍	1.6ℓ/10a					
ブロッコリー	アブラムシ類	20倍	2ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
		32倍	3.2ℓ/10a					
		4000倍	100~300ℓ/10a					
		25倍	1.6ℓ/10a					
アスパラガス	コナジラミ類、ネギアザミウマ、カスミカメシ類	4000倍	100~700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	3回以内		
豆類(未成熟、ただし、さやいんげんを除く) 未成熟とうもろこし	アブラムシ類	4000~6000倍	100~300ℓ/10a					
ねぎ	アブラムシ類、ネギアザミウマ、 ネギハモグリバエ	4000倍		100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
		2000倍						
		16倍	1.6ℓ/10a					
		20倍	2ℓ/10a					
たまねぎ	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	3回以内		
豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)	アブラムシ類	4000~6000倍						

(詳しくは製品ラベルをご確認ください)

■ 試験成績



■ 注意事項

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等のアルカリ性の強い薬剤との混用はさけてください。
- 植物体への浸透移行による効果は弱いので、かけ残しのないように葉の表裏に十分散布してください。
- ぶどうの効果期以降に使用する場合は、果粉の溶解を生じるおそれがあるので注意してください。
- おうとうに使用する場合は、果実に汚れを生じるおそれがあるので注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ① ミツバチやその巣箱及びその周辺にからさないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
  - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - ③ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
  - ① 散布は散布機種に準じて実施してください。
  - ② 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  - ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  - ④ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- ⑤ 散布終了後は次の項目を守ってください。
  - (a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
  - (b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤をばれいしょに対して希釈倍数400倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型(速度運動式)地上液剤散布装置を使用してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。
- 使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受け、また、誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手洗、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。 ● 防除日誌を記帳しましょう。